

ALICE

IRIS

RED

HORSE

SELECTED

POEMS OF  
YOSHIMASU

GOZO

吉増剛造

×

フォレスト・ガンダー

×

堀内正規

×

ジェフリー・アングルス

×

中保佐和子

×

ジョーダン・スミス

×

土肥秀行

現代詩の翻訳をめぐるシンポジウムと朗読会

**POETRY &  
TRANSLATION:  
A NEW HORIZON**

2016・7・6 立命館大学

2016年9月、米国 New Directions 社より 吉増剛造英訳詩集 *Alice Iris Red Horse* が刊行される。この翻訳詩集が画期的であるのは、吉増のテキストを翻訳するという営み自体が、翻訳の可能性を模索する文学的な実験となっているからだ。吉増作品を別の言語に翻訳することは、単なる意味の伝播を超えどのような意義を持ち、グローバルな現代詩創作の現場にどのようなインパクトをもたらすのだろうか？このような問いかけは多言語化・多様化する現代文学の場において言語芸術の新たなありようを批判的・実践的に模索する機会となるであろう。東京国立近代美術館「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」をはじめ、吉増の評価を新たに作る気運が高まるこの機会に、詩人と翻訳詩集の編者および主たる翻訳者が集い論ずる本イベントでは、単に学術的な評価だけでなく、「詩」の多重的な「声」をパフォーマンスを通じて分かち合うことを目的とする。

**吉増剛造** 詩人。日本藝術院会員。朗読パフォーマンス、映像・手稿作品などを交えた多面的詩作活動の先駆者。最新刊は大震災からの連作『怪物君』(2016)、『我が詩的自伝～素手で焔をつかみとれ！』(2016)『GOZO ノート』シリーズなど。

**堀内正規**

早稲田大学文学学術院教授。専門はメルヴィル、エマソンを中心とした19世紀アメリカ。吉増剛造をアメリカとの関係から論じており、思潮社より『吉増剛造とアメリカ』の出版を準備中。

**ジェフリー・アングルス**

詩人・翻訳者。ウェスタンミシガン大学准教授。近代日本文学研究のかたわら、日本語で創作している。ドナルド・キーン翻訳賞受賞。新井高子 *Soul Dance* (2008)、伊藤比呂美 *Wild Grass on the Riverbank*(2015)など。近刊『わたしの日付変更線』2017年に折口信夫『死者の書』の英訳を出版予定。

**司吉会田恭子**

立命館大学准教授。前衛の横断性と同時性をテーマに、ナポリの未来派サークルの研究を行ってきた。近現代の日伊文化交流にも造詣が深く、現代イタリアの創造力を積極的に紹介している

**土肥秀行**

**中保佐和子** 詩人・翻訳者。日米を拠点に英語で詩作・パフォーマンスを続ける。詩集 *The Ants* (2014)など。平出隆など日本の前衛的詩人を数多く翻訳しており、左川ちか *The Collected Poems of Chika Sagawa* (2015)は2016年度米国 PEN 翻訳賞を受賞。

**フォレスト・ガンダー**

詩人・翻訳者。ブラウン大学教授。他者との邂逅が生み出す変容を描いた詩集 *Core Samples from the World* (2013)はピューリッツァー賞および全米批評家協会賞の最終候補作。日本やラテンアメリカの現代詩の翻訳での受賞も多い。

**ジョーダン・スミス**

詩人・翻訳者。城西国際大学准教授。日本語・スペイン語文学の翻訳、日・英・西の比較文学論研究のみならず映画研究も手がける。東京での詩の朗読パフォーマンス活動を続けている。翻訳に水田宗子 *Sea of Blue Algae* (2015) など。

2016年7月6日(水)  
 シンポジウム：14:30～16:30(開場 14:00)  
 朗読会：18:00～19:30(開場 17:30)  
 場所：立命館大学衣笠キャンパス  
 創思館1Fカンファレンスルーム(マップ30)  
 主催：立命館大学国際言語文化研究所  
 事前申込不要・参加無料  
 問合せ先：075-465-8164 genbun@st.ritsumeai.ac.jp

# Poetry & Translation: A New Horizon



表: *Alice Iris Red Horse* (New Directions, 2016) 表紙